

平成30年 1月16日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標題 益田メロン部会通常総会が開催されました。

(ダイジェスト)

益田メロン部会の総会が1月12日に開催されました。平成29年産は実績栽培面積約20ha、平成19年産以来10年ぶりに販売金額3億2千万円を達成し、目標の年間販売金額3億1千7百万円を上回りました。

今年度の益田メロン部会は栽培面積約20ha（前年対比100%）、販売金額約3億2千万円（前年対比102.3%）を達成し、目標年間販売金額を上回りました。

(内訳)

品目	人数 (名)	面積 (a)	出荷数量 (ケース)	販売金額 (千円)
アムス	69	1207.5	79,901	202,235
夏作アールス	39	316.6	14,941	54,316
秋作アールス	41	472.53	17,093	63,841
平成29年産実績合計		1996.6	111,935	320,392

今年度は、2～3月にかけての低温、春から夏にかけて高温・乾燥傾向、その後8月下旬～10月には一転しての天候不順等メロン栽培にとって厳しい気象条件が続き、アムスではしおれや裂果、秋作アールスでは果実腐敗症が発生しましたが、生産者の高い技術力および品質の高さによって目標販売金額を上回ることができました。

しかしながら、近年、新たにメロン栽培に取り組む新規就農者がいる一方、高齢化やハウス老朽化等で栽培規模が減少傾向にあり、産地の維持が大きな課題となっています。

当普及部では昨年度実施した益田メロンの実態調査および意向調査を基にビジョンづくりに向けた取り組みを進めています。現在、将来どのような取り組みが必要か生産者から意見聴取を行っているところです。

今後も引き続き、生産者や関係機関と情報共有を図りつつ、益田メロン産地の維持・強化に向けて課題を一つでも解決できるように取り組んでいきます。



【優績者表彰】